

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
経営協議会（平成27年度第3回）議事要旨

1. 日時 平成28年1月25日（月）14:05～15:45
2. 場所 奈良先端科学技術大学院大学 事務局3階 会議室
3. 出席者 小笠原議長
片岡、横矢、中島、太田、常盤の各学内委員
小山、田中、土井、野間口、宮原の各学外委員
欠席者 ヴィーツォレック、樋口、宮畠、矢嶋の各学外委員
出席監事 野口監事
陪席者 尾原、奥田の各部長
西山、寒川、林田、井上、尾形、桑原、樋口の各課長
近藤施設課専門職員
4. 配付資料
資料1 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会（平成27年度第2回）議事要旨（案）
資料2-1 第3期中期目標・中期計画（素案）の修正及び原案等の提出について
資料2-2 第3期中期目標・中期計画（素案）の修正について
資料2-3 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 中期目標原案
資料2-4 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 中期計画案
参考資料 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案に対する所要の措置について（通知）
資料3 平成27年人事院勧告による一般職の職員の給与に関する法律の改正への対応について
資料4 本学の主な動き（平成27年11月～平成28年1月）
資料5 平成28年度奈良先端科学技術大学院大学予算の内示概要
資料6 平成27年度外部資金の受入れについて
資料7-1 平成28年度年度計画について
資料7-2 平成28年度年度計画（素案）
机上資料 第5期科学技術基本計画（案）の概要
机上資料 新聞記事（奈良先端大 東京フォーラム2015）
参考資料 奈良先端大の概要と特色

5. 議事

（前回議事要旨の確認）

資料1の前回（平成27年度第2回）の議事要旨（案）について、原案どおり承認された。

（審議事項）

（1）第3期中期目標・中期計画（素案）の修正及び原案等の提出について

議長から、資料2-1～4に基づき、第3期中期目標・中期計画（素案）の修正及び原案等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

（2）平成27年人事院勧告による一般職の職員の給与に関する法律の改正への対応について

中島委員から、資料3に基づき、平成27年人事院勧告による一般職の職員の給与に関する法律の改正への対応について説明が行われ、審議の結果、原案どおり承認された。

また、本学関連規程の改正については、2月中に学内の諸手続きを経て改正することが確認された。

(報告事項)

(1) 本学の主な動きについて（平成27年11月～平成28年1月）

議長から、資料4に基づき、平成27年11月から平成28年1月までの本学の活動状況等について報告が行われた。

(2) 平成28年度予算内示等について

中島委員から、資料5に基づき、平成28年度の本学の予算内示及び文部科学省関係予算の概要について、報告が行われた。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・運営費交付金が減少する中、競争的資金の獲得策をこれまで以上に検討するとともに、企業と連携したクロスアポイントメント制度を活用するなど、これまでの給与制度を見直す必要があるのではないかと。

(6) 平成27年度外部資金の受入れについて

横矢委員から、資料6に基づき、平成27年度外部資金の受入れについて報告が行われた。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・大型の共同研究費の獲得に向け、大学と企業とが協同して戦略的にマッチングすることが重要ではないかと。

(その他)

(1) 平成28年度年度計画（素案）について

横矢委員から、資料7-1～2に基づき、平成28年度年度計画（素案）の内容確認と意見照会について協力要請が行われた。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・外国語による教育プログラムを構築する際、本学が他大学のモデル校となるような教育課程を実施してはどうか。
- ・国の方針で数値目標を入れざるを得なくなっているが、その数値目標の達成状況で、評価が決まることの危険性を考える必要があるのではないかと。

(情報交換・意見交換)

小笠原議長から、机上資料に基づき、第5期科学技術基本計画（案）におけるこれからの本学の対応について意見交換が行われた。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・大学も社会的存在であるため、「人材育成」や「研究」だけに収まらず、研究成果で社会に貢献することも重要なミッションではないかと。

以上